

令和3年度東山区地域保健推進協議会書面審議結果

書面審議期間 令和3年10月5日～10月29日

1 令和3年度東山区保健福祉センターの取組事項について

- コロナ禍という中で、現状に即して必要不可欠な計画が立てられている。
- 東山歯科医師会では東山保健福祉センターで歯のひろばを開催して、市民、区民の歯の健康に対する啓もう活動を行ってきたが、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった。次年度以降、歯のひろばを開催して東山区の保健活動に協力していきたいと思う。
- 「わたしの検診ガイド」は、分かりやすい。
健診の受診率を上げるには、日常生活の中で生活習慣を変える必要がある。
ただ、周知は十分だったか。地域での回覧物は多く、気がつかなかった。
一方で、インターネットからは、情報を得にくい高齢者も多いことから、今後、周知するには工夫が必要。
- 行動制限があった中で、将来的にどのような影響があるのか。
自分でセルフチェックして、行動につなげる仕掛けが必要。
今後、検診ガイドを会社や事業などにも配布し必要な方への配信をしてはどうか。

【参考：令和2年度実績報告について】

- コロナ対応で、その分健診の受診率が下がるのは仕方がない。来年以降正常化してくれるとよい。
- がん検診の受診者の減少が気になった。今年度もコロナの影響で、コロナ前の数字に戻ることは見込めないと思うが、何か具体的な改善策があれば、と思う。
- 過去5年間の実績を比較対象にする必要があるのではないかと思う。この2年間は特殊な事情の中で推移しているのでは。本当の実績かの検証が必要だと感じた。
- 様々な事業が推進されていることに驚きを隠せない。しかし、これだけの公共事業が区民に浸透しているのか疑問に感じる。実績が物語っている中、現実をもう一度見直す工夫が必要ではないかとひしひしと感じた。まだまだ工夫を重ねて事業を浸透させる努力が必要と感じた。

2 その他

- 目に見えて、医療機関を受診する妊婦が減っている。本当に医療を必要とする人が受診できているのか。
- 「令和3年度京都市保健所運営方針 「5「民泊」に関する取組の推進」において、違法民泊の取締り等と共にコロナ禍の時代では、民泊利用者の
 - 1 タバコの吸い殻のポイ捨て及び飲食物の残がいを民家の敷地に捨てることによる、片付ける者への感染リスク
 - 2 多人数での夜中に及ぶ宴会に伴うクラスター発生にも留意いただきたい。